

# 教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行  
2019年3月 第23号

## 教育臨床心理実践センター主催 公開講演会

### 「ひきこもりの現状とその支援から」報告

2月1日(金)16時15分～18時、教育創生リ  
ージョナルセンター機構棟1階・教育臨床心理  
実践センター教育臨床実習室において、清水岳  
彦先生(京都府家庭支援総合センター内「脱ひ  
きこもり支援センター」)をお迎えし、ひきこ  
もりの現状やセンターでの支援についての理  
解を深めました。

初めに、ひきこもりの現状について説明して  
いただきました。平成28年度の内閣府調査で  
は、全国でおよそ54万人(京都府では約11,000  
人)がひきこもり状態にあると推定され、また、  
平成29年に京都府で実施された実態調査によ  
ると、男女比では男性が7割、年齢別では20  
歳代が21.6%、30歳代が28.3%とのことでした。  
ひきこもりのきっかけは、不明28.4%が最も  
多く、次に不登校24.0%で、ひきこもりは長期  
化すると抜け出すことがますます困難となり、  
家族の苦悩や経済的な負担も大きくなるため、  
長期化を防ぐ早期の支援が必要であることな  
どを共有しました。また、ひきこもりの背景要  
因には①社会的要因、②心理的要因、③生物学的  
的要因があり、それぞれが複雑に絡み合い「ひ  
きこもり」という状態を生じさせることが多い  
こと、「支援の拒否」が最も困難な課題であり、  
2次障がい予防、軽減が、支援の視点からも  
重要であることを学びました。

京都府では平成17年度からひきこもりの専  
門相談が開始され、平成22年からは家庭支援  
総合センターでひきこもり相談を実施、平成  
29年度からは脱ひきこもり支援センターが設  
置されました。

脱ひきこもり支援センターへの来談者は男  
性が8割弱、支援の対象は本人が21%、家族が  
79%となっており、本人に支援をつなげるこ  
との困難さをお話しいただきました。支援内容



(京都府家庭支援総合センター 清水岳彦先生)

の一つとして「職親」について説明していただ  
きましたが、これはさまざまな協力事業所の元  
での職業体験を行うもので、仕事を体験するこ  
とにより、自信をつけたり、生活リズムを整え  
たり、他者とのやりとりに慣れるなどの目標が  
設けられ実践されているとのことでした。

また、早期支援特別班は、ひきこもり傾向に  
ある児童生徒及び家族等に対して早期にアプ  
ローチし、適切な支援につなげることを目的と  
し、府内の中学・高校や民間支援団体等とも連  
携されていることも学びました。また、「チー  
ム絆」として、府内6つの民間団体が居場所支  
援や学習支援等を行っているとのことでした。

そして、ひきこもりの支援については、家族支  
援の効果や種類と特徴、本人支援のポイント、  
ひきこもりからの回復の流れについてのお話  
があり、ひきこもりのアセスメントの重要性、  
支援の課題として、本人と出会い信頼関係を作  
ることの困難さや、どのように対人不安を和ら  
げるかということ、地域支援の効果についても  
説明していただきました。

ご講演後の質問では、ひきこもり状態から社  
会につなげる工夫や実態について、また、安心  
安全を感じられる居場所についてなどの質問  
にもお答えいただき、有意義な時間となりました。

## 教育臨床心理実践センターの改組について

教育臨床心理実践センター長 本間友巳

本年4月より、これまでの教育臨床心理実践センターは、新たに創設される『総合教育臨床センター』の拠点（教育臨床心理実践拠点）となります。同様に、これまでの特別支援教育臨床実践センターも、『総合教育臨床センター』のもうひとつの拠点（特別支援教育臨床実践拠点）に位置づけられます。

すなわち、これまでの教育臨床心理実践センターと特別支援教育臨床実践センターは、4月にスタートする『総合教育臨床センター』の2拠点として統合されることになりました。

それぞれの拠点では、これまで実施してきた事業を、原則引き継いでいきます。教育臨床心理実践拠点でも、来年度、「心理教育相談室活動」や「附属学校園へのスクールカウンセラー派遣」は継続して実施されます。

新しく創設される『総合教育臨床センター』では、これまで2センターが行ってきた不登校・いじめ・発達障がいなど、今日的な教育課題への取り組みを引き継ぐとともに、2センターを統合すること、すなわち、2拠点が連携協力することで、これまで以上に効果的で効率的な取り組みを展開していくことを目指しております。

今後も変わらぬ、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 心理教育相談室について

### 平成29年度・30年度(1月まで) 相談件数報告

<相談件数>

	29年度	30年度(1月まで)
相談件数	80	73
延べ相談件数	888	715



<29年度 相談内容>

	不登校	いじめ	非行・しつけ	学業不振	進路・適性	発達の遅れ	対人関係	行動性格情緒	その他	計
相談件数	12	0	0	5	3	2	15	37	6	80
延べ件数	102	0	0	49	61	6	181	373	116	888

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824（月曜～金曜、午前10時～午後4時）

## 教育臨床心理実践センター・スタッフ



専任教員（センター長）教授 本間友巳 非常勤カウンセラー 岩井秀世（月曜）  
兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 教授 小松貴弘 准教授 西村佐彩子  
相談補佐員 荒井久美子（月・火曜） 與那嶺のどか（水曜） 坂口美江（木・金曜）